経営比較分析表／団体全体（令和4年度決算）

岩手県　一関市

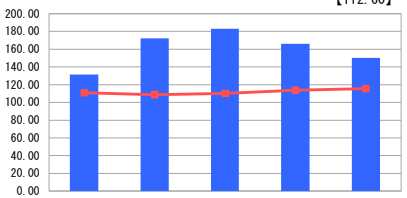
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m^3/日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m^3)
法適用	工業用水道事業	2,100	極小規模	1	1,120
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m^3/日)	管理者の情報	
-	87.6	2	1,284	非設置	

グラフ凡例
■　当該団体値（当該値）
ー　類似団体平均値（平均値）
【】　令和4年度全国平均

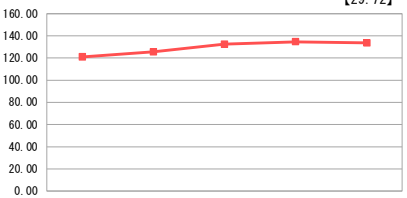
1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【112.60】



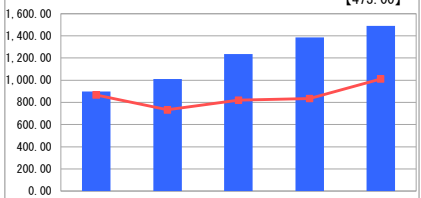
	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	131.29	172.29	183.09	166.24	150.11
平均値	110.79	108.76	110.19	113.73	115.42

②累積欠損金比率(%)　【29.72】



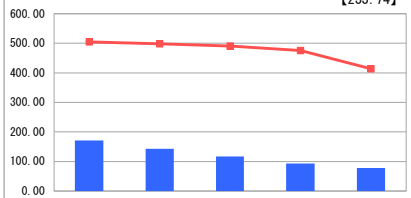
	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	121.15	125.80	132.55	134.69	133.64

③流動比率(%)　【473.00】



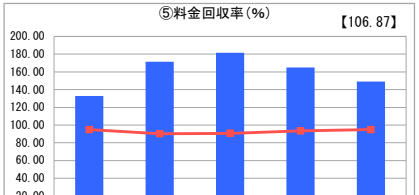
	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	897.28	1,010.27	1,236.84	1,386.66	1,488.62
平均値	868.31	732.52	819.73	834.05	1,011.55

④企業債残高対給水収益比率(%)　【233.74】



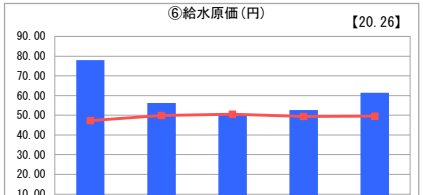
	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	171.57	142.90	116.73	93.52	77.35
平均値	504.81	498.01	490.39	475.44	413.60

⑤料金回収率(%)　【106.87】



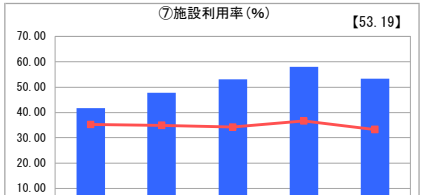
	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	132.98	171.30	181.60	165.10	148.94
平均値	94.91	90.22	90.80	93.49	94.77

⑥給水原価(円)　【20.26】



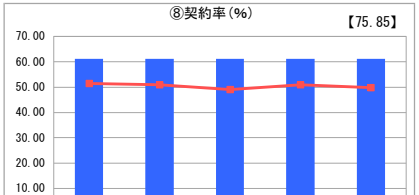
	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	78.07	56.14	50.37	52.71	61.37
平均値	47.36	49.94	50.56	49.40	49.51

⑦施設利用率(%)　【53.19】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	41.71	47.76	53.14	57.95	53.33
平均値	35.22	34.92	34.19	36.65	33.29

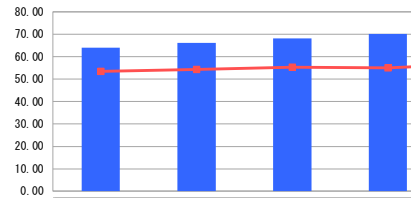
⑧契約率(%)　【75.85】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	61.14	61.14	61.14	61.14	61.14
平均値	51.42	50.90	49.05	50.94	49.76

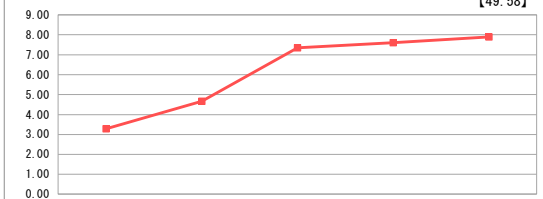
2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【61.17】



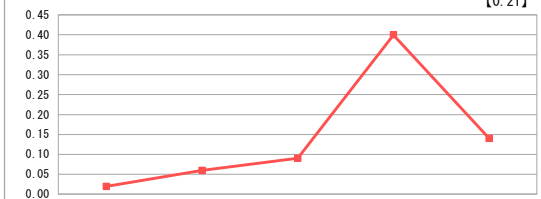
	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	63.98	66.14	68.21	70.25	72.29
平均値	53.49	54.30	55.32	55.08	56.95

②管路経年化率(%)　【49.58】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	3.28	4.66	7.35	7.60	7.90

③管路更新率(%)　【0.21】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	0.02	0.06	0.09	0.40	0.14

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
　類似団体等と比較して高い水準にあり、安定した収益を確保しています。
③流動比率
　100%を大きく上回る水準を維持しており、短期的な債務に対しての支払能力を有していると考えます。
④企業債残高対給水収益比率
　類似団体等との比較において低い数値で推移しており、当面、施設更新に伴う企業債発行の見込みもないことから、今後も逓減する見通しです。
⑤料金回収率
　100%以上の数値で推移しており、給水収益で経常費用を賄うことができています。今後も100%以上の数値を維持できるよう努めていきます。
⑥給水原価
　類似団体等の平均値を上回る数値となっていますが、これは動力費の高騰が原因と考えられます。料金回収率が100%を上回っているため、経営の健全性は保たれていると認識しています。
⑦施設利用率
　類似団体との比較では高い数値を示しているものの、施設能力の5割程度が遊休状態となっていることから、施設更新時にダウンサイジングを検討していきます。
⑧契約率
　契約水量を踏まえた施設規模としており、類似団体との比較では高い数値となっております。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
　類似団体等との比較では若干高い数値となっていますが、管路経年化率や管路更新率の数値及び数値変動にあるとおり、適切な設備更新が進められています。
②管路経年化率
　供用開始後、法定耐用年数を経過した管路はありません。今後控える更新工事を適切に行っていきます。
③管路更新率
　法定耐用年数を超えた管路が今後増加するため、適切な設備更新を行っていく必要がある

全体総括

　各経営指標から健全な経営状態を維持していると考えられますが、昭和62年１月の供用開始から30年以上経過しており、今後は施設の大規模更新に向けた検討が必要となってきます。
　将来の水需要の動向を見極め、ダウンサイジングを含めた施設更新の検討と計画的な資金確保に努めていきます。